

先週の回答

当選



「小池百合子、知らんのか？」
 「聞いたことありません」
 「おまえはどこに住んでいるんだ」
 「東京都世田谷区南烏山・・・」
 「に住んでて知らんのか、小池百合子を」
 「ああ、都知事のこと？」
 「他にいるか」
 「捜せばいると思いますけど。都知事がどうかしましたか？」
 「お父さんは、こんどの都知事選挙には行かず棄権した。何でか知りたいか」
 「いえ、別に」
 「お父さんが一票入れた候補者は必ず落選してきたから、小池百合子に一票を投じたかったが、わしが投じると落ちる

から棄権した」
 「で、シンクスどおりに当選した？」
 「そう。わしの棄権が効を奏して」
 「で？」
 「小池百合子は、自民党の公認をもらえず、崖から飛び降りる気持ちで、孤高の立候補をして落ちなかった。そこがすごい」
 「だったら小池百合子は・・・」
 「自民党に対して恨み骨髄、今までの知事とちがって自民党に何の負い目もない。したがって堂々と自分の主義主張を述べられる立場にある。そこに期待しているんだ、わしは」
 「たしかに、その前のズッコケた二人の知事とはちがうようですねえ」

「築地の魚河岸を江東区の豊洲に移転するのも、今までの自民党公認知事だったら、何のチェックもなしに引き継いで、今ごろはガス会社の跡地の有害物質の上で、魚の取り引きをしていたと思うと恐ろしくなるよ、お父さんは」
 「すると、豊洲魚市場はご破算ですか」
 「そこが見物だよ。責任はタライ回しにして、何千億円もかけて完成させたものを今さら白紙に還したら、業者は大損害を被ると自民党と都の幹部は喚いているようだが、新当路の人は、住民（都民）の健康を優先すべきとの立場で、断固戦う姿勢でいるのに喝采をおくりたいね、お父さんは」
 「当路の人って？」
 「重要な地位にある人のことだ。『当路』は交通の要路に当たる意味だ。わかったか」
 「お父さんは路肩の人ですね」
 「どーゆー意味だ」
 「道路の端のドブに落ちそうな所にいる、うだつの上がない人のことです」



